

第十一回出雲の國伝統芸能交流大会

一月二十五日(日) チェリヴァホール

第十九回雲南神楽フェ
スティバルと、出雲の
國・斐伊川サミット「出
雲の國伝統芸能交流大
会」と共同で開催しまし
た。

普段はそれぞれの地域
でしか見ることできな
い神楽と伝統芸能が一堂
に会し、勇壮に舞い奏で
ました。



仁多乃炎太鼓



難波神楽団



唐川自治会 唐川神楽

◆演目

- 一、「大社」 山王寺和野神楽社中（雲南市）
- 二、「山の神」 唐川自治会 唐川神楽（出雲市）
- 三、「八戸」 深野神楽保存会（雲南市）
- 四、「たたら」の響」 仁多乃炎太鼓（奥出雲町）
- 五、「日本武」 小河内神楽社中（雲南市）
- 六、「悪切り」 難波神楽団（飯南町）
- 七、「国譲」 南加茂貴船神楽社中（雲南市）
- 八、「簸の川大蛇」 西日登神楽社中（雲南市）



西日登神楽社中

出雲神楽

出雲神楽とは、岩屋戸から天照大神を引っ張り出したひとり「アミノウズメノミコト」の舞をそのままに受け継ぐ、出雲地方（島根県東部）に伝わる伝統芸能です。

古事記、日本書紀の「神代」には、神楽の元となった出雲神話が多数挿入されており、そこに登場するスサノヲ、オロチ、オオクニヌシ、イナタヒメ。すべて斐伊川にまつわる神話です。出雲神楽は地域の郷土芸能として脈々と受け継がれています。